

小樽商科大の構内にある慰霊
碑の前で手を合わせる参列者



【小樽】小樽商科大は15日、構内にある緑丘戦没者記念塔前で慰霊祭を行い、戦争で亡くなった学生や卒業生、教職員ら347人を追悼した。

青春「犠牲者の分まで」

樽商大が慰霊祭

遺族や同窓生のほか、学生や教職員ら70人が参列。正午にはサイレンに合わせ黙とうをささげ、戦没者の名前が刻まれた慰霊碑に献花した。

穴沢真学長(67)は「平和に思いをほせ、先輩方の分も力強く生きていかねばならない。世界平和へ向けて力を注ぎたい」とあいさつした。

戦争で兄を亡くした小樽市の藤田栄子さん(86)は「青春時代を奪われ無念だったはず。今の人たちには戦争への関心をもちつつ、兄の分も楽しんでほしい」と話した。

慰霊祭は1969年、当時の教授の声掛けで記念塔ができてから毎年開催している。